

学生表彰



広島市立大学には、学術研究活動、課外活動、社会活動において活躍した学生や学生団体を表彰する制度があります。2024 年度受賞者は、以下のとおりです。受賞内容については、広島市立大学ウェブサイトをご覧ください。なお、後援会では受賞者に副賞として図書カードを贈呈しています。【氏名・学部・学年 ※学年は 2024 年度】

●学長賞（個人）

河田 歩里 芸術学研究科博士前期 2年

●学長奨励賞（個人）

上田 徳彦	情報科学部	4年	兼定 諒	情報科学研究科博士前期	2年
大本 裕真	情報科学部	4年	濱本 菜花	芸術学研究科博士前期	2年
松本 朋己	情報科学部	4年	鵜 篤志	情報科学研究科博士前期	1年
亀川 果野	芸術学研究科博士後期	3年	柳田 雄生	情報科学研究科博士前期	1年
Mai Thi Dang Thu	国際学研究科博士後期	3年	山本 麻愛	情報科学研究科博士前期	1年
周東 裕也	情報科学研究科博士前期	2年	永山 花香	情報科学研究科博士前期	1年
野田 楓稀	情報科学研究科博士前期	2年	河元 愛香	芸術学研究科博士前期	1年
山崎 陽介	情報科学研究科博士前期	2年			

●学生顕彰（個人）

岡本 結菜	国際学部	4年	田儀 千尋	国際学部	3年
柿原 未典	国際学部	4年	山田 賢生	情報科学部	3年
後藤 美宇	国際学部	4年	藤田 太陽	情報科学部	2年
村木 月	国際学部	4年	佐原 海哉	情報科学研究科博士前期	2年
伊藤 大貴	情報科学部	4年	山根 愛実	情報科学研究科博士前期	2年
上本 隆良	情報科学部	4年	戌亥 竜一	情報科学研究科博士前期	2年
門田 陸	情報科学部	4年	光元 歩	情報科学研究科博士前期	1年
白井 玲我	情報科学部	4年			

●学長奨励賞（団体）

軟式野球部

代表者 村木 月 国際学部 4年

第31回広島市立大学大学祭実行委員会

代表者 浦川 千歌 情報科学部 3年

地域活性化のための情報格差をなくす

掲示板アプリ ケーショ ンの開発

代表者 山崎 陽介 情報科学研究科博士前期 2年

課題解決プロジェクト

代表者 原 惇樹 情報科学研究科博士前期 1年

代表者 中田 花歩 国際学部 3年

代表者 藤田 太陽 情報科学部 2年

●学生顕彰（団体）

いちだいピア・サポート活動団体（いちピア）

代表者 上田 徳彦 情報科学部 4年

学生広報クルーいちレボ（いちレボ）

代表者 金井 咲季 国際学部 3年

チーム視覚造形29期生

代表者 平田 真弓 芸術学部 3年

旅するテーブル

代表者 伊藤 綾乃 国際学部 2年

広島市立大学科学教室

代表者 浅野 明 情報科学研究科博士前期 2年



企業見学報告

後援会の企業見学（貸切バス）補助制度を利用して、情報科学部システム工学科の学生 56 名及び引率教員 2 名が 2024 年 11 月 20 日マツダ株式会社を訪問しました。大学で学んだ知識や関連技術が社会でどの様に活用されているか、実際に触れることにより進路決定の一助としています。参加者の中から自動車業界でキャリアを目指す学生の感想をピックアップしました。

情報科学部システム工学科3年 角 悠行さん（※学年は2025年2月時点）

体験見学の中で特に印象に残ったのは、マツダの「人間中心のクルマづくり」に対する情熱、「走る楽しさ」を追求する姿勢でした。

情報工学の視点でシステムデザインやユーザーインターフェースの重要性を感じており、マツダの製品がどれほどドライバーの感覚に寄り添い、運転する楽しさを提供しているかに深い感銘を受けました。特にマツダが誇る「SKYACTIV 技術」や「魂動デザイン」の理念に触れ、その革新性と美しさに驚きました。

また、マツダが持つレースやスポーツカーへの情熱にも強く

共感しました。私は将来、自動車業界でキャリアアップを志しており、自動運転技術が進化する中でも、MT（マニュアルトランスミッション）のスポーツカーを開発したいという夢があります。EV（電気自動車）の普及が進んでいる現在においても、ガソリンエンジン車こそ深いロマンがあると感じており、その魅力を未来に引き継ぎたいと考えています。

今回の見学をとおして、マツダの企業理念や製品に対する深い理解を得ることができ、今後の進路選択に大きな影響を受ける経験となりました。



キャリアセンター長インタビュー



Q 市大生の就職の現状について、どのように感じていますか。

企業の採用活動の早期化に対応できている学生とそうでない学生に分かれているように感じています。近年では多くの業界で人材不足の様相であり、企業がインターンシップを重視しできるだけ早く学生との接触する機会を増やしています。その結果、早ければ卒業・修了の前学年次の年内には企業より内々定をもらう学生もいます。一方で、卒業直前まで内定がもらえず、就職活動が長期化している学生もあり、二極化が進んでいるようです。早期化にあわせキャリアセンターでも様々な支援を行っており、就職率は 100%に近く。学生それぞれが進路を決定できていると考えていますが、学生の皆さんは企業の採用活動に柔軟に対応してもらえればと思います。

Q 市大生の長所と短所についてどう思いますか。

市大生の長所としては、昔から言われていて私も少し色眼鏡で見えているかもしれませんが、真面目なところかと思います。実際に多くの企業から、卒業生の皆さんの働きぶりが真面目で誠実だというお言葉もいただき、継続して求人を本学に出してくれています。ただし、真面目というのはある意味ではおとなしいという面があり、このあたりが短所とみなされる場合もあろうかと思います。

Q 就職活動に成功する人と失敗する人の違いはどこだと思いますか。また、Z世代が心得ておくべき今後の就職活動についてどうお考えですか。

本学では、様々なキャリア形成支援科目を設置し、低学年からのキャリア教育を充実してきました。将来を考え、講義にも積極的に参加し、準備をしっかりと取り組んでいる学生は就職活動も円滑に進められている印象です。就職では自分と企業とのマッチングが重要ですが、自己分析がうまくできていない学生は、就職活動をうまく進めていない場合が多いです。特に変化の激しい社会情勢の中で、自身のキャリアを通じてどんな社会貢献をしたいのかという軸を持つておくことが今後ますます重要になると考えます。

Q 在学生が努力すべきこと、経験すべきことは何でしょうか。

何事にも本気で取り組むことがよいのではないのでしょうか。本気で取り組んでいれば、きっと自分の興味も広がり、様々な知見を得ることができます。また壁にぶつかった場合には他人の協力のありがたさにも気づけることでしょう。経験することでしか自身の価値観を知ることでもできないと思いますし、自分のできること、やりたいこと、すべきことが分かれば、将来の道もおのずと見えてくるように思います。充実した大学生活を送ってほしいと願っています。



プロフィール

キャリアセンター長 西 正博(にし まさひろ)

大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻博士後期課程修了。1999 年に広島市立大学に助手として着任し、2005 年に同大学助教授、2007 年に同大学大学院准教授、2016 年に同大学大学院教授。2019 年から本学キャリアセンター長となり現在（※2025 年 2 月時点）に至る。専門分野は無線通信と電波サイエンスなど。